

# 患者さんと義肢装具士に最高の材料を提供したい

手や足を失った患者さんが暮らしていけるように、一人ひとりに合わせた義手や義足を組み立てる義肢装具士という仕事があります。その装具士に必要な材料や工具を提供するのが小原工業です。義肢づくりは欧米の方が歴史が古いため多くは輸入品に頼っていましたが、日本人の体型や生活様式にはなかなか合いません。そこで、小原工業では海外の技術を日本人向けにアレンジして加工をしています。

装具士さんから患者さんの使い方をヒアリングして、改良を重ねます。筋金には、日本刀を作るときと同じ鍛造たんざうの手法を今でも残し続けています。現在では、より軽く加工のしやすいジュラルミンなどの素材が主流になっていますが、鍛造によるしなやかな鉄を使った筋金に根強い信頼感があるからです。小原工業の自慢は、そうした患者さんの様々な声に応えられること。「一人でもお客様がいる限り、鍛造の筋金も作り続けます」と企画部室長小原正泰さんは言います。



木製の足には機械でできない加工が多く、ほとんどが手仕事



工場長菊池さん

## ここがすごい!! 金属加工から木工まで職人技の結集

筋金や工具をはじめ、革や細かいねじを含めると小原工業が扱う商品の点数は何万点にも及びます。装具師さんの必要とするあらゆるものを提供するという考え方でやってきたからです。

1階の工場を見学して、まず驚くのは工作機械の数の多さです。削ったり、曲げたり、穴を開けたり、組み立てたり。しかも金属だけではなく木材や樹脂も加工します。一人ひとりの「こんなものが欲しい」という声に応える姿勢が、仕事の誇りにつながっているようです。



微妙な堅さの調整も寿司職人のように手際がみごと



角度やサイズが少しずつ違う筋金  
がいつも揃っている



職人歴 50 年という菊池工場長

### 株式会社小原工業

[www.obara-kogyo.jp](http://www.obara-kogyo.jp)

代表者 秋山 重幸  
所在地 世田谷区用賀2-18-9  
設立 昭和21年(1946年)  
主な事業 義肢装具材料及び義肢装具  
機械設備の製造販売、リハビリ  
テーション用具の販売等  
連絡先 ☎03-3700-4631



企画業務部室長 小原正泰さん

### VOICE

#### やりがいは人の役に立つこと

この仕事のやりがいは、人の役に立つことをさせていただいていることです。そういう仕事をいただけることがありがたいですね